

# 2023年度 早期診療所実習アンケート

実施日：2023年8月～10月

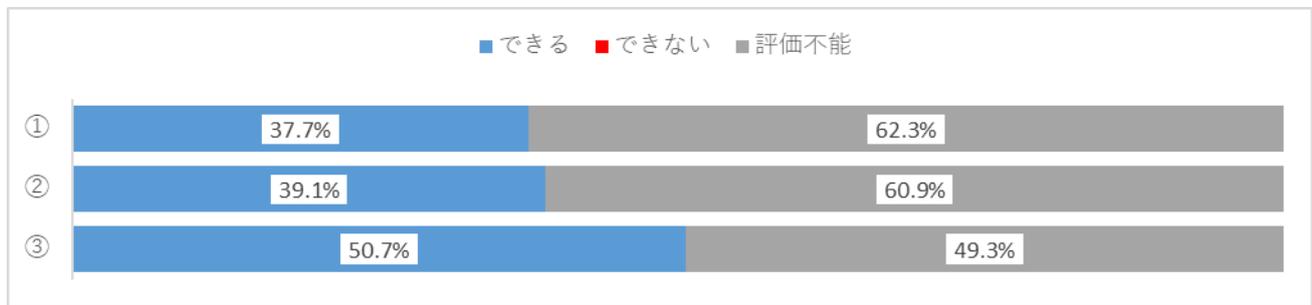
評価対象者：M1 95名（うち4名は2施設での実習、1名は実習不可）

回答者：診療所28施設の医師（うち7施設（対象者25名分）はアドレス登録なし）

回答率：94.5%

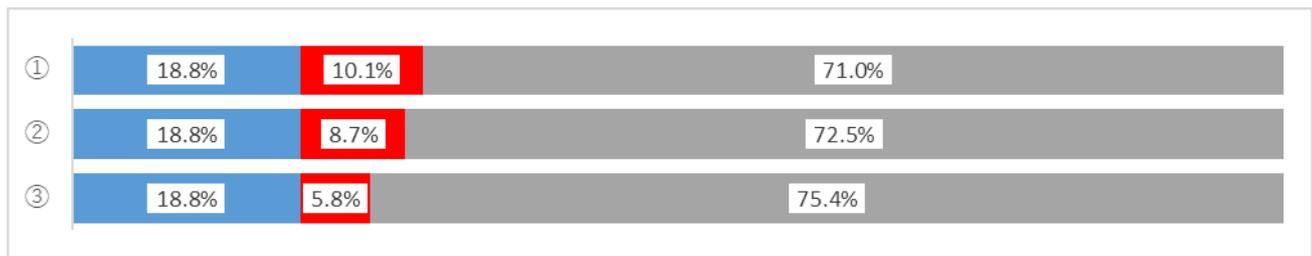
## 【1.プロフェッショナリズム（level 1）】

- ① 患者の基本的権利、自己決定権について説明できる。時代や社会の変革に伴い患者・家族の意識やニーズが常に変化していることが理解できる。
- ② 医療専門職に課せられる法的・倫理的責務について概説することができる。人の命と健康を守る医師の役割や果たすべき職責について継続的に考えることができる。
- ③ 社会人としての一般常識・倫理観を身に付け行動することができる。グループ学習等において、常に同僚や関係者に対して配慮した行動をとることができる。



## 【2.医学知識と問題対応能力（level 1）】

- ① 各器官の正常な構造・機能とその成立・維持に関わる情報伝達機構を説明できる。病気の発症と進展に関わる病因・病態生理を説明できる。
- ② 社会医学領域の基礎的知識を有し、関連する法則や理論を説明することができる。
- ③ 生命現象の科学、個体の反応、基本的な病因と病態、人の行動と心理に関する基礎的知識を有し、概説することができる。



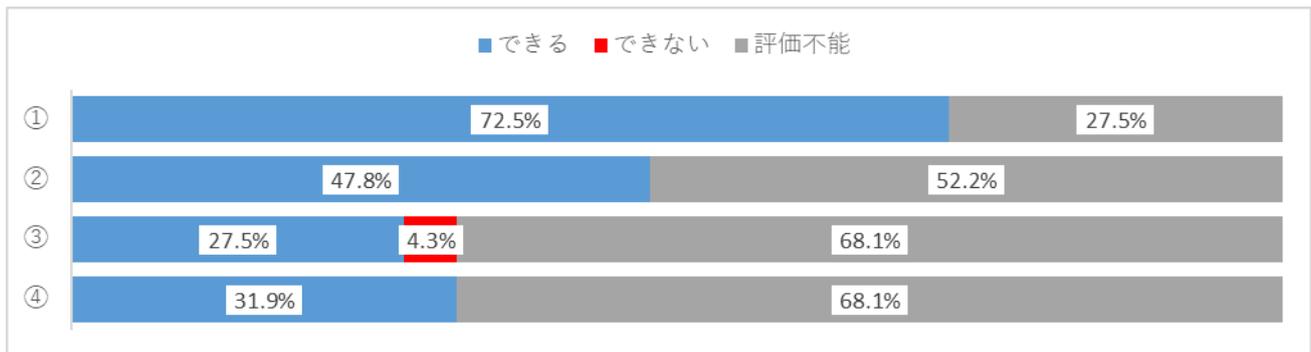
## 【3.診療技能と患者ケア（level 1）】

- ① 診療に必要な病歴を構成する要素を提示できる。身体所見から得られる情報を病態を踏まえて説明できる。
- ② 主な症候の鑑別診断リストを挙げることができる。
- ③ 臨床手技を行う適応と禁忌を挙げ、基本的な手技についての実施方法を述べることができる。



#### 【4.コミュニケーション能力 (level 1)】

- ① コミュニケーションの方法と技能の基本、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響について概説できる。コミュニケーションを通じて良好な人間関係を構築することができる。
- ② 患者と良好な関係を築くためには、患者の個別的背景を理解することが重要であること、家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ること、医療が患者中心の視点に立って行われなければならないことについて理解することができる。
- ③ 適切なプレゼンテーションの要点項目、基本について説明できる。
- ④ 患者の状態について、報告・連絡・相談する必要性を理解できる。大学生活の中で、関係者に適切に報告・連絡・相談を行うことができる。



#### 【5.チーム医療の実践 (level 1)】

- ① チーム医療の意義、医療チームの構成や各構成員（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制について説明することができる。



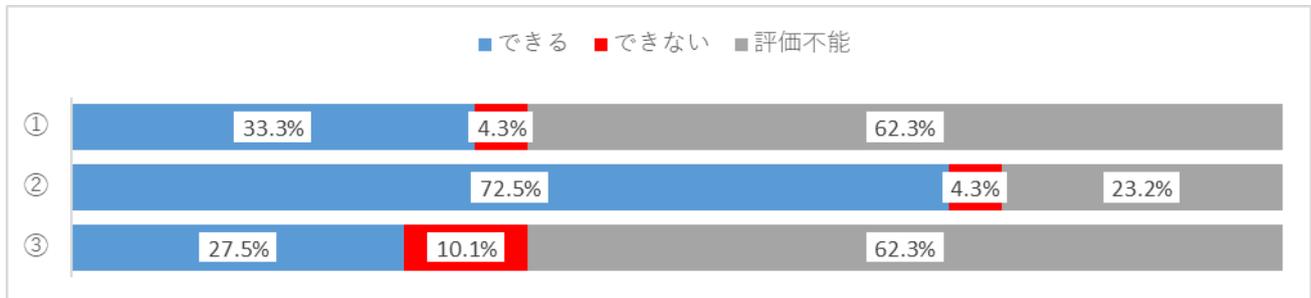
#### 【6.医療の質と安全の管理 (level 1)】

- ① 医療の質と患者安全確保のための基礎知識を説明できる。一般的な医療事故の発生のメカニズムと防止策を説明できる。
- ② 労働衛生の三管理「作業環境管理」「作業管理」「健康管理」について説明できる。



### 【7.社会における医療の実践と大阪住民の幸福に貢献する力 (level 1)】

- ① 地域における保健・医療・福祉・介護の分野間および多職種間の連携の必要性を説明できる。
- ② 診療所見学等を通じて医療従事者と交流し、大阪の地域医療に携わり、地域医療の現状、プライマリケアの必要性を知ることができる。
- ③ 大阪の医療の現状、特殊性、課題を理解し、それらの蔓延を引き起こす地域的問題点と社会医療の実態を理解することができる。



### 【9.生涯にわたって共に学ぶ姿勢 (level 1)】

- ① 生涯学習の重要性を説明できる。各分野における国内外の最先端の研究について学び、生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。
- ② 同級生とのグループ学習において、自分の考えをメンバーに向けて提示することができる。また、自分の考えに対する他のメンバーからの指摘や意見を受け入れ、尊重することができる。

